



参拝客に「ピ」を配る「びわ娘」 西宮市で

## 浴衣のびわ娘ら巡行 西宮神社・おこしや祭り

西宮神社（西宮市社家町）で14日、関西で最も早い夏祭りとされる「おこしや祭り」があった。色とりどりの浴衣を着た25人の「びわ娘」たちがみこしと共に商店街を練り歩き、参拝客に300袋分の旬のピワや、甘酒を振る舞った。

漁師の網にかかったえびす様が、みこしで西宮神社に向かう途中で居眠りをしたため、漁師がえびす様の尻を

つねって起こした、という言い伝えにちなんだ祭り。

この日は、ピワで飾ったみこしが、漁師がえびす様を起こしたとされる「おこしや跡地」まで巡行。家族連れや地元の人たちでにぎわった。

びわ娘の1人で、武庫川女子大学4回生の三谷理子さん(21)は「ピワを配った人から『ありがとう』と言うてもらえてうれしかった」と話していた。【山本未来】